
三菱地所グループ初となる、タイ・バンコク郊外での大型ラグジュアリーアウトレットモール セントラル ビレッジ 「Central Village」第一期事業に資本参画

三菱地所株式会社は、タイ小売り最大手である^{セントラル グループ}Central Groupの100%子会社である大手商業デベロッパー^{セントラル パタナ パブリック}Central Pattana Public Company Limited（以下、CPN社）社が開発した大型アウトレットモール「Central Village」第一期事業への資本参画を決定し、本日26日に現地にてCPN社と株主間協定書を締結しました。三菱地所グループは、タイ国内にて住宅・オフィス事業を推進していますが、アウトレットモール事業への参画は今回が初となります。

「Central Village」は、首都バンコクの玄関口であるスワンナプーム国際空港から車で約10分、都心部からは約45分と、アウトレットモールとして利便性・集客力の高い場所に位置し、本年8月31日にグランドオープンを迎えました。約112,960㎡の広大な敷地に、約150店舗からなる延床面積約40,000㎡のモールを構えるほか、併設ホテル*の開業も予定されており、今後さらなるエリアの賑わいの創出が期待されます。本アウトレットモールは今後増床・拡張が予定されており、世界的に知名度のあるラグジュアリーブランドはもちろんのこと、ローカルブランドや飲食店舗等も充実させていく計画です。



▲Central Village エントランス



▲Central Village 外観

三菱地所グループは、日本国内において都心型・郊外型含め様々な商業施設の開発・運営を行ってきました。本事業においては、CPN社のタイ小売り市場におけるノウハウと、当社グループの日本で培った商業施設を始めとする街づくりのノウハウを融合し、今後の増床や拡張にも協力してまいります。

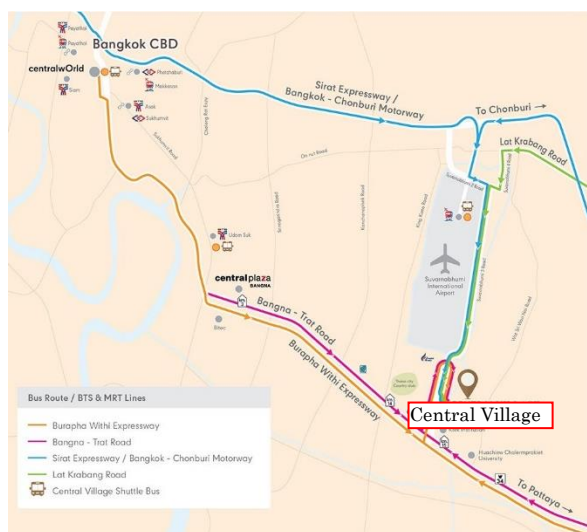
タイをはじめとした東南アジア諸国では、経済成長を背景に人口増・収入増・消費増が進むほか、世界各国からの旅行客の渡航があるなど、既に三菱地所グループとして取り組んでいる住宅・オフィス事業に加え、商業施設事業も継続した成長が見込まれる有望なマーケットです。本事業への参画を契機として、タイにおいても、三菱地所グループの開発・運営ノウハウを活かす事業への積極的な参画を継続して検討していきます。

【「Central Village」概要】

所在地	98, 98/1, MOO 5, BANG CHALONG, BANG PHLI DISTRICT, SAMUT PRAKAN THAILAND 10540
所有者	土地:CPN 社※1 建物:CPN Village Company Limited※2 ※1 CPN から CPN Village Company Limited が賃借 ※2 CPN 社(70%)、三菱地所(30%)が出資するジョイントベンチャー会社
敷地面積	約 112,960 m ²
延床面積	約 40,000 m ²
店舗数	約 150 店(第 1 期部分) ※今後の増床計画を含めると 235 店以上となる予定
建物規模	地上 1 階、駐車場約 1,600 台
総事業費	約 5,000 百万タイバツ(約 180 億円、1 タイバツ=3.6 円計算) ※今後の増床計画及び当社が関与しない開発予定ホテルを含む
スケジュール	2018 年 4 月 着工 2019 年 8 月末 開業 2019 年 11 月 当社事業参画
施設ホームページ	http://www.centralvillagebangkok.com/

【本施設の特徴】

- ・バンコク中心部から車で約 45 分、スワンナプーム国際空港から車で 10 分の場所に立地。
- ・バンコク中心部とバンコク近郊最大の観光地であるパタヤを結ぶバンナーチョンブリ高速道路の出口から車で約 5 分。同高速道路の交通量は 2 万台/日、750 万台/年。
- ・年間来場客数は約 620 万人(ローカル 65%:外国人 35%)を想定。
- ・タイにおける初の本格的なアウトレットモール。
- ・Coach、Club21 (Outlet by Club 21)、Ermenegildo Zegna、Kate Spade New York、Kenzo、MAX&Co.、Michael Kors、Polo Ralph Lauren、Salvatore Ferragamo 等のブランド構成、毎日 35~70%の割引を実施。



▲アクセスマップ

CENTRAL VILLAGE BANGKOK LUXURY OUTLET



▲フロアプランイメージ

【パートナーについて】



A Member of Central Group

Central Pattana Public Company Limited

1980年にタイ小売最大手であるセントラル・グループのモール開発会社として創業。1995年にタイ証券取引所に上場。都市型及び郊外型モールを中心にタイ国内で32施設を開発・運営を行い、タイ商業デベロッパーとしては最大の規模を誇る。タイ以外の国への進出にも積極的で、2019年3月にマレーシアで現地デベロッパーと組んで大型商業施設を開業させている。

設立 : 1980年
売上高(2018年) : 約364億タイバーツ(約1,310億円) ※1タイバーツ=3.6円計算
事業内容 : 商業施設を中心とした不動産の開発・運営
代表者 : Mr. Preecha Ekkunagul

■ CPN社の代表物件／Central World

アクセス : バンコク高架鉄道(BTS)
サイアム駅至近
開業 : 2006年
貸付有効面積 : 244,000m²
店舗数 : 500店舗以上
建物規模 : 地上7階、地下2階



▲Central World 建物外観

【各社コメント】

・CPN社 Chief Executive Officer Mr. Preecha Ekkunagul

まずはCentral Villageが無事開業を迎え、三菱地所アジア社との信頼関係を築くことができました。同社のようなグローバルでの経験と実績のあるパートナーとの事業は、CPN社としての可能性を高めることにつながると考えており、同社の参画によりCentral Villageの運営・サービスは更に向上すると期待しています。

我々は、「日本とタイのホスピタリティを兼ね備えたワールドクラスのアウトレットモール」をコンセプトに、我々のサービスやホスピタリティ等独自の強みを生かしていきたいと思っています。両社の本プロジェクトでの協業により、Central Villageを東南アジアにおけるNo.1のラグジュアリーアウトレットモールへと導くと共に、日本のトップブランドのタイマーケットへの誘致に繋がりたいと考えています。本プロジェクトへの投資は、両社や両国でのプロモーション等を通じて、今後観光業を更に底上げすることになるでしょう。

・三菱地所アジア社 Managing Director 四塚 雄太郎

タイの商業デベロッパー最大手であるCPN社と本プロジェクトに携わることができ、大変光栄に思っています。Central Villageは豊富なブランドラインナップが特徴的な、年齢層問わず楽しむことが出来る施設です。バンコク及びその近隣の住民の方々はもちろん、空港至近であることから観光客の方々にも利用頂きたいと考えています。

本事業を通じてタイの不動産業・観光業に貢献していきます。

以上